

井草会報

2017
NO.50

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

「2017同窓会」のご案内 —井草の絆 いつまでも—

隔年開催で続いている同窓会の集いも、今回で11回目を迎えます。懐かしい仲間たちとの再会の場として、井草の絆を深め合う楽しい会にしたいと思い、ただ今準備を進めています。

卒業後20年と10年の皆さまを記念学年として新たに加えた前回の同窓会は、総勢500名近くが集い、過去最高の参加者数となりました！若い世代の同窓生たちにとっては、改めて井草の絆を再確認する機会になったことと思います。記念学年、招待学年の方々はもちろん、各学年、クラスの仲間、先輩、後輩の皆さまと誘い合わせて、ぜひご参加ください。多数の皆さまのご出席を心よりお待ちしています！



2015同窓会に集まった同期の仲間

日時：平成29年8月19日(土)14:00～16:30(受付開始13:00～)

会場：池袋 ホテルメトロポリタン 3階「富士の間」(☎03-3980-1111)

会費：8,000円(ただし、記念学年及び招待学年の会費は以下の通りです)

傘寿世代を祝って	高校6回生、7回生(S29年、30年卒)	無料
古希世代を祝って	高校18回生、19回生(S41年、42年卒)	7,000円
還暦世代を祝って	高校26回生、27回生(S49年、50年卒)	7,000円
卒業30年を記念して	高校39回生、40回生(S62年、63年卒)	7,000円
卒業20年を記念して	高校49回生、50回生(H9年、10年卒)	7,000円
卒業10年を記念して	高校59回生、60回生(H19年、20年卒)	7,000円

「2017同窓会」の申込方法

- ◆同封の振込用紙でコンビニ振込の方は7月31日（月）までに、それ以降は郵便局で8月15日（火）までに参加費をお振込ください。
振込領収書が入場券となりますので、当日お忘れなく持参ください。
- ◆招待学年(高校6回、7回生)で参加希望の方は、8月4日（金）までに右記の連絡先へお知らせください。

なお、新入会員(高校68回、69回生)の方々は、参加費2,000円を当日受付でお支払いください。

- ◆8月10日（木）までにキャンセルの方には、手数料(1,000円)を差し引いて参加費をお返しいたします。
- ◆連絡先；事務局 0120-066-193(FAX兼用)
なお、留守電の際は、氏名・卒業年・クラス名を必ずお知らせください。

目 次

2017同窓会案内	1	フレッシュ卒業生に聞きました	11
記念学年幹事からの呼びかけ	2～4	キャンパスニュース	12
恩師からの便り	5	クラブ活動めぐり（弓道部・生物部）	13
OB/OGインタビュー（金谷滋子さん）	6	井草会会長インタビュー	14
OB/OGインタビュー（夏野剛さん）	7	幹事総会報告・予算決算	15
同期会・クラス会・OB/OG会報告	8～10	井草会掲示板	16

記念学年の皆様、お待たせしました！

第11回目を迎える「2017同窓会」、『井草の絆 いつまでも』をテーマに準備を進めています。記念学年の皆様、同期のお仲間と声を掛け合い、ぜひご参加ください！恩師や同期生たちとの懐かしい思い出話とともに、参加をきっかけとした新たなご縁によって、さらに井草の絆が深まるることと思います。また、前回より記念学年に卒業20年と卒業10年の同窓生たちを新たに加え、より多くの皆様へ参加の呼び掛けをしています。

記念学年の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしています。

同窓会委員会委員長 田村 光孝 (31E)

18回生(昭和41年卒)の皆様へ

還暦の記念学年から、あっと言う間に10年が過ぎました。一昨年6月に「古希まで待てないパート2」同期会を開催いたしましたが、今年はいよいよ本番です！自分たちが古来希なる年令になったとは、何やら信じられない気分なのですが、井草会(井草高校同窓会)より古希世代の記念学年として参加の呼び掛けをいただきました。

懐かしい井草のキャンパスでの思い出や近況を、互いに顔を合わせて語り合える再会の場となると思います。当日は、同窓会に引き続き二次会として同期会も企画しています。多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。

A組 八巻・石川(正宝) B組 磯邊・竹崎・平山
 C組 並木・堀越(西久保) D組 和田(飯川)
 E組 吉井・中村(佐藤) F組 松本・大久保(河野)
 G組 夏目・勝又・南部・丸茂(柏井)
 H組 小川・矢崎 I組 岩下・中江
 J組 永島(渡辺)・市野川(黒田)



昭和40年の体育祭



懐かしのからまつ山荘

19回生(昭和42年卒)の皆様へ

抜ける様な青空に描かれていく五色の輪を見上げていたのは、私達が井草高校一年生の10月10日。国立競技場や駒沢公園総合運動場などで行われた数々の競技に興奮したり感激したり。まさか再び東京オリンピックが見られるとは思いもしなかったこと。

来年古希を迎える我々19回生は今夏、18回生と共に記念学年として同窓会への参加が呼び掛けられている。旧交を温めながら思い出話をしたり、近況を語り合ったり・・・青春時代の話は気分も若やぎ背筋もピンとして帰路に着くはず。

恐る恐るでもワクワクしながらでも構わない、誘い合って参加してみたらどうだろう。

A組 高橋・鈴木(三関) B組 松岡・角田(並木)
 C組 植村・吉沢 D組 斎藤・大出
 E組 土井・大原(陌間) F組 岸・石川(原)
 G組 福地・宇多川(中村) H組 宍戸・赤鹿(村田)
 I組 川勝・石田(沢田)

26回生(昭和49年卒)の皆様へ

皆様、お元気ですか。一昨年(2015年)の8月には、還暦同期会に120名を超える同期生が集うことができました。

あれから2年あまりが過ぎ、今年8月19日に井草高校同窓会(井草会)主催の同窓会において、我が26回生と27回生が記念学年となり、再び同期の皆様が集う機会を頂きました。同期会では叶えられなかった先輩方や後輩の方との再会も期待できると思います。ご都合の合う方はご参加下さい。

26回G組 岡田 至弘

27回生(昭和50年卒)の皆様へ

同期の皆様、お元気ですか！高校の頃は「還暦なんて腰の曲がったご老人！」と思い描いていたのですが、いざ還暦に届いてみると、身体こそ「よく使いこんだ」感が否めないものの、心は井草時代と変わらず「面白い事には興味津々！」な毎日。過去の思い出、今の興味、明日の夢を、一を語れば十を共感できる仲間と12年ぶりに集いましょう。クラス幹事から既にご案内済みと思いますが、「2017同窓会」の二次会として、同期会も開催致します。2つの宴でじっくり、たっぷり楽しみましょう！

A組 吉澤・山田(福谷) B組 深嶋

C組 小倉(西脇)・根岸(白井) D組 鳥谷

E組 吉本・三浦 F組 町田・鎌形(清水)

G組 井出(深津) H組 門屋・酒井

I組 大野(伊藤)

昭和50年ごろの正門から見た校舎



楽しかった体育祭後のボンファイヤー

39回生(昭和62年卒)の皆さんへ

井草高校を卒業されてから30年。今振り返ってみると、卒業後の30年は本当にあつという間に過ぎて行ったのではないでしようか。皆さんも各方面でご活躍されていることと思います。卒業後、大学や会社、その他の場所で様々な出会いがあり、多くの方と知り合ってこられたでしょう。そんな中で、3年間、毎日のように顔を合わせ、青春時代を過ごした高校の仲間たちは、特別な存在ではないでしようか。

井草会の同窓会は2年に1度、同窓生や恩師との懇親の場として開催されています。39回生は、今回40回生とともに卒業30年の記念学年として、多くの参加を呼び掛けています。特別な存在の井草の仲間たちと再会でき、改めて井草の伝統を感じ、新たな思い出を作る絶好の機会です。

皆さん、お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。ホテルメトロポリタンでお会いしましょう。

39回B組 佐藤 英樹

40回生(昭和63年卒)の皆さんへ

青春を謳歌した井草高校を卒業してから、はや30年を経過しようとしています。40回生の皆さんは、各方面で様々にご活躍されていることと思います。働き盛りの年代ですから、毎日大変忙しい日々をご過ごされているでしょう。母校を訪れる機会もなく、懐かしい思い出の中に井草時代があるといったところでしょうか。

井草会の同窓会は、同窓生や恩師との懇親の場として隔年で開催されています。40回生は、今回39回生とともに卒業30年の記念学年となります。思い出の中の井草高校から、あの井草時代に戻ることができ、井草の伝統を感じ、新たな思い出を作る絶好の機会です。

皆さん、お誘い合わせて、どうぞご参加下さい。ホテルメトロポリタンでお待ちしています！

40回E組 水野 弘



2015同窓会で会場いっぱいの同期生

49回生(平成9年卒)の皆さんへ

卒業してから、もうじき20年が経ちます。生まれてから高校を卒業するくらいの年月が過ぎてしましました。しかし、井草高校の仲間たちと過ごした時間は、楽しいことも辛いものもありましたが、つい昨日のことのように思い出されることでしょう。

皆さん、それぞれのお仕事やご家庭のことでお忙しい時期だと思います。自分の時間も持てないほど忙しい方もいることでしょう。ただ、卒業20年の記念学年として、せっかく声を掛けさせていただいた機会ですので、この夏はぜひ集まりましょう！みんなで昔のことや現在のこと、そして、これからのことなどを語り合い、改めて井草の絆を深め合いたいと思います。多数のご参加を心よりお待ちしています。

同窓会委員会 記念学年担当

50回生(平成10年卒)の皆さんへ

卒業後、大学、就職と歳月が過ぎるにつれて、井草の仲間たちと会う機会も減ってきた方も多いでしょう。交友関係や環境もどんどん広がっていますし、それぞれの立場や役割も変わってきますので、それは当然のことかもしれません。

井草高校での3年間は、今日の自分を形作った重要な時期だったことだと思います。そうした時代を共に過ごした仲間たちと、また時間を共にすることは、単に懐かしさだけでなく、変わった自分、変わらない自分をお互いに確認し合う楽しい時間になるのではないかでしょうか。

8月19日は、ぜひ一人でも多くの平成10年卒業のお仲間とお目にかかりますように！

同窓会委員会 記念学年担当

59・60回生(平成19・20年卒)の皆さんへ

前回の同窓会より、井草の絆をさらに深め合いたいとの思いから、卒業10年の皆さんへも記念学年として参加の呼び掛けをしています。2年に1度開催される井草高校同窓会は、恩師の方々を迎え、同期の横のつながりと先輩・後輩と縦のつながりの絆を深め合う場として、毎回盛大に行われています。

卒業後10年のこの時期、様々な立場で活躍をされ、多忙を極めていることと思いますが、かけがえのない3年間を過ごした仲間たちとの再会により、さらなる「元気エネルギー」を注入しませんか。井草高校には素晴らしい歴史と伝統があります。世代を超えて「自由の井草」を語り合い、感じてみてください！

担任の先生方からも、ご出席のお返事が届いています。皆さんのご参加を心よりお待ちしています。

同窓会委員会 記念学年担当



井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けていますので、どうぞご利用ください。援助金は、30名以上の同期会、15名以上(65歳以上は10名以上)のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。援助額は、千円／人ですが、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの申請とさせていただきます。ただし2年連続しての申請はご遠慮ください。

ハガキかFAX、または井草会ホームページの援助金事前申請用紙に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名(卒年・組)を明記し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。

事前申請の受付終了後に、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

この制度は、会員の年会費によって賄われています。年会費の納入に、会員の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

【問い合わせ・申し込み先】

井草会同窓会委員会 〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-2-43 都立井草高校内
TEL/FAX 0120-066-193 (受付時間：平日9時～17時) メールアドレス igusa@igusakai.org

恩師からの便り

4月20日現在 敬称略 【在職年 教科】★印はご出席

8月19日開催「2017同窓会」案内状の返信葉書に書き添えていただいた、先生方の近況報告を抜粋してご紹介いたします。なお、紙面の都合上、内容を一部割愛させていただきました。

★大浦 晓生【S31～36 英語】

この4月で86歳になりますが、幸い元気で、月に2～3回はアメリカ文学翻訳の研究会などで東京へ出ます。

★平井 英一【S36～49 社会】

90才となりました。卒寿です。60才の還暦から120才の天寿の丁度中間になります。今年の3月で老人会長を辞め、高齢者の健康問題を勉強していきたいと考えています。

森 弘安【S38～54 理科】

昔ならば、とっくに寿命が終わっている歳なのに医学・薬学のお陰で、まだ高尾山や西多摩の丘陵を歩いています。ここ数年、西多摩の丘陵に分布を拡大してきたニホンジカと熱センサーカメラを通じてお付き合いをしています。

★荒田 政和【S39～55 英語】

痩せているせいか膝に負担をかけずに歩けるので、よく散歩をしています。新宿御苑、昭和記念公園、神代植物公園を定番コースに、必ずカメラを持って行きます。

★廣川 一夫【S40～56 英語】

80才になりました。元気です。耳が少々遠くなりましたが。

★鎌田 敏雄【S42～52 数学】

元気にはいます。相変わらず製本にハマっていて、多忙です。地元の文化協会(NPO法人)の事務局長も多忙です。

★旗 利彦【S44～51 理科】

まだ、都教育庁で非常勤で仕事をしています。2022年に全国高等学校総合文化祭が予定されていますので、それに向けて頑張っています。

小泉 力【S56～H2 英語】

のん気です。元気です。悲しい映画と悲しい音楽です。お笑いです。トランプです。?????

相沢 健夫【S59～H11 英語】

一昨年は初めて出席させていただき、卒業30年後の諸君との再会で素晴らしい思い出になりました。ガイド中に私が原爆時に長崎に居たことを話したNew York Timesの記者が、オバマ氏の広島訪問に合わせて、ネットのHuffington Post誌に記事を書いてくれました。

高橋 誠治【S59～H6 国語】

定年後5年間の嘱託も終えて、はや2年が過ぎました。今は週に1度の絵画教室(油絵)、月に2度の歌の会(童謡など)に通っています。しかし、何よりも楽しいのはサイクリングです。雨や雪の日以外は、ほぼ毎日2時間前後走ります。それだけ走ると、かなりな距離を移動でき、ちょっとした旅行気分を味わえるし、誰にも邪魔されず思う存分想に浸れるし、いいことづくめです。

鈴木 みち子【S61～H15 社会】

いくつかのサークルに加入し、都内の史跡を巡り歩いたり、古文書講座やセミナーに出席したりして、元気に過ごしております。

★國府方 進【H2～14 英語】

「晴走雨読」の毎日で、「18切符」で時々旅に出ています。昼間は読書で夜コンサートという理想的な生活が続いています。

中西 克弘【H7～11 教頭】

3月1日のNHK「探検バクモン」で爆笑問題が「広辞苑」編集部を取材。その時、岩波の女性編集部の方が田中さんに「同級生です」と挨拶。彼は「え? 井草なの」と返す場面がありました。一瞬でしたが、井草高の名が満天下に轟きました。うれしい、うれしい。

北川 真理【H9～17 国語】

四月から読売カルチャー恵比寿で「相関図つき源氏物語」の講座を再び担当しています。古代歌謡のほかに、かな書道を習い始めました。先生が井草の卒業生。井草とのご縁が深くなった感じです。

梅村 和伸【H12～16 校長】

NPO法人「スポーツ映像利用普及協会」の仕事をしています。現在は、インターハイの優れた選手の映像を撮って、それを配信し、指導者や選手、また国民に見ていただいて、技術向上に役立てたり、スポーツを楽しんで見ていただけたりという目的を持って取り組んでいます。

★佐藤 光一【H14～17 副校長】

3月末で埼玉栄中高校校長を退任し、4月より福井の金井学園(福井工業大、福井高、福井中)の理事長補佐として着任しました。

★高井 正木【H15～20 数学】

都立清瀬高校に勤めています。

片桐 秀一【H16～24 社会】

昨年、千葉県の旭市へ移りました。海まで15分ほどの所で暮らしています。週5日、フィットネスクラブで泳いでおり、多くの水泳仲間ができました。静かな所でノンビリと暮しています。

★熊倉 正一【H17～21 国語】

人生は死ぬまでの暇つぶしという心境でいます。

★飯坂美枝子【H17～22 家庭科】

高齢の母の見守りと緊急時の“育ババ”で、落ち着かない生活です。

黒澤 正信【H17～25 数学】

昨年四月にアフリカ最高峰キリマンジャロに登頂しました。まだ体力はあるようです。

★植竹 完氏【H18～24 数学】

出席いたします。

★浅井 嘉平【H23～25 校長】

年々、進学状況が好転しています。学校のご努力が良い成果につながっていると思います。



OB・OG インタビュー

家庭料理の教室を年間300回も！



かなたに しづこ
金谷(木原)滋子さん 6回(S29年卒)B組

女子栄養短期大学卒業。

大学の研究室で集団給食研究所の助手をしながら、栄養士として都内学生寮の給食の献立作成に携わる。子育てに専念後、香川県保健所のへき地対策事業に10年間従事。以後神戸公社兵庫県食生活改善協会で50年以上料理教室の指導と講演を続ける。

栄養改善事業の発展向上に尽力した功績により平成12年に兵庫県知事賞、平成27年に厚生労働大臣賞を受賞。

料理指導をするようになったきっかけは？

香川県で保健所のへき地対策事業に携わったことで家庭料理の大切さを感じました。小島などで食事指導をしたところ、漁師は野菜不足、山村は野菜ばかりの食生活で、たんぱく質不足。どちらもバランスの崩れで生活習慣病になるケースが多く「家庭料理の指導が不可欠だ」を実感しました。

料理教室の指導が一生の仕事と思ったのは？

一つは女子栄養大学の恩師（当時学長）から「食は生命（いのち）なり」をよく噛みしめなさいと教えられたこと。また、テレビ「料理の鉄人」の審査委員で「おいしゅうございます」のコメントで知られる故岸朝子先輩に「あなたが家庭料理を広めなさい」と背中を押されたことが料理指導の実践につながりました。私の断り下手で料理教室を年間300回もやったり、毎月3～4回、神戸から東京を新幹線で往復したこともあります。

高校時代の思い出は？

友達とやりとりした「連想ページ」です。休み時間に、その時見たものや感じたことなどをノートにどんどん書き込んでいくのですが、高校時代の思い出として忘れられません。

ボロ校舎、教室と教室がベニヤ板仕切り、隣の教室の声が聞こえてきてしまうこと、制服、男子のテカテカ帽子、渡り廊下、エスケープ、スクエアダンス、進学適性検査、夏休みの校庭の草取り、などなど思い出します。

2年間の隔週5日制、仮装行列、サマータイム、石炭ストーブ。映画「君の名は」「風と共に去りぬ」。音楽は「グレンミラー物語」。アンパン、クリームパン、飽きずに毎日よく食べた。ああ懐かしい！

忘れられない言葉やエピソードは？

「楽しみは親しき友と二人して手を取りあって笑う時な

り」と書いてくれた友だちがいたこと。今も懐かしい大切な思い出です。

担任だった古屋先生から「大きな口をあけてよく笑ってましたね。どうしてあんなに毎日面白いことがあるのか不思議でしたが、クラスをいつも明るくしてくれて感謝しています」とメッセージをもらって嬉しかった。

井草高校にはクラブ活動に料理研究会がありますが後輩へメッセージを。

お菓子やケーキ作りも楽しいですが、ぜひ「食の基本」を探求してほしいです。テレビでは常に料理番組が流れているのに、家庭料理はお粗末になっているという印象です。「魚を下ろしましょう」と言ったら、卸し金を手にしたり！子や孫にまで引き継がれる家庭料理の大切さと料理の基本を学んで下さい。

現在、何か続けている楽しみは？

忙しくても私の時間に合わせて集まってくれる井草高校同期の友人男女12名（葉山・荒井・鈴木・金谷・郡・塚本・遠藤・大越・星野・杉浦・尾身・柏原）で毎月1回カラオケを楽しみ、お喋りをしています。その後すぐ神戸へ行くこともあります。元気に過ごすためには、「キョウイク（今日行く所がある）」と「キョウヨウ（今日用がある）」が大事なので、私はそれを実践しています。



東京オリンピック・パラリンピックで グローバリゼーションとイノベーションの加速化を



なつ の
夏野 剛 さん 35回(S58年卒) I組

2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと3年。「iモード®」や「おサイフケータイ®」の生みの親としても有名な夏野剛さんは、慶應義塾大学の特別招聘教授や多くの上場会社の取締役など様々な分野でご活躍されていますが、東京オリンピック・パラリンピックでも、組織委員会の参与と各種委員会の委員をされています。新しい時代に向けた夏野さんの思いをお聞きしました。

東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムの選考の時に夏野さんのお名前を拝見しました。

最初のエンブレムのことがネットで炎上してしまい、もう一度、エンブレムを選び直そうという時に、組織委員会の森会長から「インターネットのことをちゃんとわかってないからだめだった」という話になったんです。そこで、ボクに声がかかりました。「エンブレム案を4つ提示し、その中から決める」という史上初の試みや審査風景のインターネット生中継を実現しました。こうした新しいことを進めるのに関係者の理解を得るのは大変でしたが、国民の理解は深まりました。エンブレム委員会は18回もやりましたよ。無報酬でしたが(笑)。

無報酬なんですか！夏野さんは新しいことをいろいろ提案しているんですね。

今度のオリンピックはポイントが二つあると思っています。一つはどれだけ海外の人が来てくれるのか(グローバリゼーション)、もう一つはどれだけ新しい価値を作り出せるか(イノベーション)です。この二つは非常に重要になると思います。日本は人口減少期に入っていて、これで経済が縮小したら、今あるインフラを維持するのが難しくなる。道路一本維持することが大変になってしまいます。経済を維持するためにはこの二つは重要です。2020年に世界に新しいものを見せられるのか、どれだけ社会を変えられるのかということが、これから日本の50年を決めてしまうのではないかと思っています。だから、2020年のオリンピックに向けて、エンブレムの決め方ひとつでも新しいことをとにかく入れ込みたいと思ってやっています。オリンピックを通して、テクノロジーや社会の決め方も多様性をもって、もっとドラスティックに動く社会を魅せてあげることが大切です。これは、世の中に大きく影響を与えることなので、委員はボランティアですけどやりがいを感じて取り組んでいます。

今多くの仕事を手掛けているが、メインの仕事はなんですか？

その質問は20世紀型ですね(笑)。20世紀はどこの組織にいるかで、その人が決まっていました。インターネットが出てきて、ガラッと変わった。21世紀は組織に属していないなくても、いくらでも情報収集、発信ができるようになりました。複数の組織にいてもそれができるようなインフラがあるのが今の時代。ボク自身は複数の会社の取締役をやっていますが、多くの組織に関わっていると経験値が高まります。環境が激変しているので、過去の経験は役立たない。同時期にやっている複数の組織の経験がすぐに役立ちます。



ところで夏野さんは学生時代どんな感じだったんですか。

井草高校はとにかく自由な学風で大好きで、友人と沢山遊びました(笑)。バトミントン部にも所属して、3年までやりましたが、3年の2学期から猛烈に大学受験の勉強をしました。模試の結果も良かったので、現役で合格すると思っていましたが、浪人。その後は予備校で1番になって表彰されたこともあるくらい、とにかくよく勉強しました。

現役の井草生に伝えたいことは？

今の高校生は無限の可能性があります。今起こっていること、これから起こることは、全部新しいことです。今まで人類が経験したことのないことが起こっているのが今です。そうした中で困ったこと、悩むことがあれば、とにかく自分の頭で考えて、自分の頭で結論を出すことが大切です。正直、先輩の言うことを聞いても役に立たない時代が来てしまったということでしょうか。自分の頭で考え、結論を出し、進んでみる。そこで壁にぶつかると、経験値が増す。人生RPG(ロールプレイングゲーム)だと思えばいいと思います。

(インタビューは2017年4月に実施しました。)

2016年度 同期会・クラス会・OB/OG会 報告

紙面の都合により一部原文を短く編集しています。



高校6回(S29卒)同期会
2016年10月11日 新日鉄代々木俱楽部

20代の感動を80代で再び… “東京オリンピックを2度観よう”を合言葉に北海道や愛知などからの遠来者を含め33人が出席。歓談の3時間余はアッという間に過ぎ、フィナーレの校歌齊唱は“大合唱”となり、会場近くの代々木の森を揺すらん(?)ばかりだった。
(C組 尾身保隆)

同期会



高校33回(S56卒)同期会
2016年8月20日 池袋ホテルメトロポリタン

2011年の卒業30年の記念学年として一堂に会する機会を経て2年に1度実施しているこの会も4回目を迎えました。当日は生憎の荒天に見舞われましたが、蓋を開けてみれば80名余の方のご参加をいただきました。前半は卒業時のクラスで後半は1年次のクラスにて席替えを行い旧交をあたためました。一堂に会したみんなの笑顔と笑い声をバックにしながら、あらたなライフケースを迎えたわれわれにとってこのような機会の意味をあらためて考えさせる集いでもありました。
(C組 加藤康正)

高校34回(S57卒)同期会
2016年11月26日 池袋 グレースパリ

3年ぶりに34回生の同期会を開催しました。2011年に初めての全体同期会を開催してから5年、同期のみんなも確実に良い年輪を重ねているようで、毎回同期会にお越しいただいているI組担任菊地先生もご来場時、一瞬、戸惑われたようです。今回初めて同期会に参加された方も10人近くおり、卒業以来の再会を楽しんでいました。また女性に喜ばれる景品を用意した記念抽選会を実施し大いに盛り上がりました。最後に菊地先生から「決して離れられない自分という存在を大事にして、自分の人生を実りあるものにして下さい」という激励の言葉をいただき、3年後の再会を約束してお開きとなりました。
(I組 舛野佐)



クラス会



高校7回(S30卒)C組
2016年6月14日 吉祥寺「點心茶室」

当初は参加者12名の予定でしたが、歯が、足が、夫が等々不都合が生じて9名が集いました。近況報告に続けて音楽のプロの指揮で懐かしい「ふるさと」「花」「おぼろ月夜」「井草高校校歌」etc.を歌って記念撮影。コーヒーショップに移っても話は尽きず、誰一人「お先に」と席を立つ人も無く話に花が咲きました。来年は傘寿、2017同窓会には元気で、もっと大勢で参加できますよう願って、名残を惜しみつつ家路につきました。
(佐藤宏子、中井淑子)



高校10回(S33卒)A組
2016年4月24日 ルヴェソンバール駒場

八重桜も終わりに近づいた春緑の駒場でクラス会は開かれました。まず、昨年逝去された級友の冥福を祈って献杯とともに始まり、近況報告に進みました。内容は、ほとんど自身の健康問題が中心となった観がありましたが、どうにかクラス会へ参加できることへの共通の喜びを実感したのではないかと思います。次回のクラス会については、全員が喜寿を迎える来年3月5日に予定し、最後に声高らかに校歌を合唱してお開きとなりました。
(佐藤昭彦)



高校10回(S33卒)B組
2016年10月20日 荻窪 カルティコ

8年ぶりにクラス会を開催しました。皆さん喜寿を迎える歳で、「やや足下のねばつかない」「病をおして」また「遠路はるばる」等々、諸般の事情をおして、皆さんのご参加を頂きました。会の途中で、場所を第二浅賀ビルに移し、近況を報告して頂きました。闘病経過、中国語、詩吟、テニス、携帯自転車、電動自転車、書道、和紙はり絵教室、セメントの特許取得、ボイストレーニング、合唱団、等々の話題で歓談しました。懐かしく楽しい午後の一時でした。
(浅賀捷代、藤井隆、西川林)



高校10回(S33卒)E組
2016年10月25日 築地はいばらうなぎ

毎年、紅葉の美しい時期にクラス会を開いています。今年はクラスメイトの久保田さん経営のお店はいばらうなぎで特上の美味しいうなぎをいただきながら時間のたつのも忘れ、学生時代の思い出をひもときながら楽しいひとときを過ごしました。ちょうど77才の喜寿、また来年元気にお会いしましょうと約束しあれました。
(津江慎弥、山口利子)



高校11回(S34卒)D組
2016年11月30日 代々木倶楽部

副担任としてご指導いただいたご高齢の大浦先生が遠路、前橋からご参加いただき一同感激しつつ会が始まりました。冒頭に担任だった谷栄一先生と級友の物故者に黙祷をささげてご冥福を祈りました。6年ぶりに再会した人、卒業以来57年ぶりに会った人、美味しい食事と美酒を飲む程に話しが弾み、後期高齢者である事を忘れて、井草高校で過ごした3年間の青春時代にすっかり戻っていました。
(神谷三英子、森本登)



高校12回(S35卒)D組
2016年7月23日 魚盛・新宿3丁目店

3年ぶりの会合でしたが、直ぐに昔に戻り、わいわい・がやがやと始まりました。皆、年が経つにつれ各自の状況変化があるものの今日ここに出席できた幸せを喜び、楽しく過ごそうと大いに盛り上りました。また、親や配偶者の介護や自身の健康問題などが話題に上り、考えさせられる場面もありました。楽しい盛り上がりを二次会へつなぎ、さらに懐かしく楽しいおしゃべりタイムが続き、時が経っても想い出話は楽しく、尽きませんでした。
(軽部行秀)



高校13回(S36卒)D組
2016年5月13日 上野 東天紅

真夏を思わせる5月の昼下がり、10名のクラスメートが日暮里駅に集合。朝倉彫塑館で庭園や作品を堪能し、築地堀の続く露地と谷中銀座商店街を散策し、団子坂下から須藤公園通り抜け森鷗外記念館で一休み。根津神社で参拝の後「不忍通り」に出てウンドショッピング(?)としゃれ込み、「東天紅」に到着。直行組の5名と合流し15名で5時より「不忍池」「東京スカイツリー」を見学ながら「家族の事」「高校時代の思い出」「健康の事」「今、熱中している事」等に時間を忘れ歓談をしました。
(丸山隆)



高校14回(S37卒)E組
2016年5月27日 グランドアーク半蔵門

恩師大澤清男先生のご逝去のあと、2回目のクラス会をグランドアーク半蔵門で実施しました。少人数であったこともあり、幹事としては心配してスタートしましたが、話は徐々に盛り上がり、時間をオーバーして、2次会に全員が参加しました。さらに2次会からは仲間が一人加わり、楽しく会話を弾みました。ハーモニカを弾く仲間に合わせ、懐かしい歌を皆で合唱しました。
(齊郷陞)



高校14回(S37卒)F組
2016年10月14日 貸会場「夢のなる木」



高校14回(S37卒)G組
2016年9月17日 八重洲龍名館レストラン



高校15回(S38卒)F組
2016年11月4日 井の頭公園プリミバチ

今迄2~3年に一度クラス会を実施していましたが、来年からは、毎年10月の第2金曜に開く事に決めました。皆同じ年(73才)ですので、悩みは、体の事、高齢になった親の事等、各人が思いの丈を飲みながら食べながら時間のたつのも忘れ、時には高校生に戻って、笑い、しゃべり、楽しいひと時を過ごしました。卒業して55年、やっぱり青春時代と共に過ごした友は、最高で宝物ですね。
(小島慶子、十河昂)

3年ぶりにクラス会を開催。さすがに70歳を過ぎ、親の介護・孫の世話・自身の体調不良などで、14名の参加でした。足の不自由なのを押して参加の人、13年ぶりに参加の人、そして参加者全員に感謝。参加者の近況報告、参加できない人の近況報告のはがきの紹介などの後、食べるより、飲むより話に盛り上がり、気が付けば10時近くになり、名残惜しんで再会を約し、それぞれ家路につきました。
(福田誠、水野由美子)

今年のクラス会は第一部が井の頭公園散策、第二部がイタリアンレストランでの懇親会。三次会の飲み会には男女合わせて14名が集まり第二部のワイン・ビールから焼酎をまだまだ飲み続ける元気にはびっくり。現役で仕事に励んでいる人、地域に、趣味に毎日忙しく過ごしている老人パワーがよくわかる。お昼前から続く会話が尽きない中、三次会も終ると外は真っ暗でしたが足元もしっかりと散会しました。
(作田豊彦)



高校17回(S40卒)D組
2016年11月27日 飯田橋アグネスホテル

ビールで乾杯からフランス料理が出されるにつれワインに変更し、酔いも程よく、田中さんの軽妙な司会で、自分の高校時代の立ち位置や性格を披露した人が結構いて、笑いが絶えなかった。何せ卒業して52年、古希を迎えた健康な人達が集まったクラス会、そのにぎやかな事といったらうるさいほど。最後は、プラスバンド部出身で今も楽器を嗜んでいる中川さんをリーダーにして、校歌を高らかに歌い上げ、全員の健康を祈り再会を約して、締めくくった。(林郁也)



高校17回(S40卒)F組
2016年5月14日 新宿ライオンズ会館

11年ぶりのクラス会を開催。卒業以来初参加という人もいて、懐かしくも賑やかに思い出を交えて近況報告も盛り上がり、顔と名前が…という若干名の?も話が進むうちにすっかり全員が「あの頃」にタイムスリップ。ありがちな「病気自慢?」も肴にしながら、皆さんそれなりの元気な様子が伺えて頗もしい限り。全員が「古希」を迎える集団とは思えないパワーを感じるひと時が共有できたように思います。

(鈴木昭男、佐々木圭子)



高校18回(S41卒)E組
2016年5月22日 稲田屋新宿西口店

十数年振りに久々のクラス会を開催しましたが、年数をかなり空け過ぎた感もあり、援助金申請可能人数ぎりぎりの10名参加の集いになりました。それでも、山のように?届いた欠席者の近況報告を肴に、学生時代の思い出やセカンドライフの過ごし方などの話に花が咲き、大いに盛り上りました。当日、不測の事故(捻挫)で欠席となったメンバーの分もたっぷり食べ、飲んで、来年の同窓会の集いに古希の記念学年として参加することを約束して、名残を惜しみながら閉会となりました。(中村啓子)



高校21回(S44卒)C組
2016年9月24日 石神井公園 和民

5年前に井草会全体の招待学年で集まつて以来の初めてのクラス会です。近況報告では、お互い知らないことがあり、改めて皆さんいろいろな経験をされていることを感じました。また高校時代のクラブ活動等の話で盛り上りました。卒業後48年経ち、親の介護、孫の世話、自分の仕事、趣味の話でお互いのことが少しあわかった感じがしました。最後に全員で記念写真を撮り、高校時代にタイムスリップしたあつという間の3時間でした。(井口政幸)



高校26回(S49卒)D組
2016年11月12日 吉祥寺東急REIホテル

今回は全員が還暦を迎えたお祝いを兼ねたクラス会として4年ぶりに開催しました。恩師の住岡先生はご都合が悪く出席できず残念でしたが23名が集まり、歓談したり近況報告をしたりして、楽しい時間を過ごしました。メインイベントとして、43年前の「井草祭」で制作・上映した8ミリ映画「学園仕置人」をDVD化したものを久しぶりに皆で鑑賞し大盛り上りました。次回は東京オリ・パラ開催の2020年にでも再会できたらうれしいです。(岡田雄一郎)



高校27回(S50卒)F組
2016年8月20日 居酒屋「番屋」

宴半ばには、これぞ「リア充」が千差万別に報告され、笑い合い、うなづき合えた2時間半。還暦記念に相応しく、年金問題、介護問題の情報交換も盛り込まれ、お酒の味も時にほろ苦く感じましたが、集い会える喜びに年齢を忘れたはしゃぎっぷりでした。来年の同窓会パーティーでの再会とそれまで元気でいるぞ!と約束を交わし、散会となりました。(鎌形香代子)



卓球部OB/OG会 2016年8月6日 井草高校体育館

卓球部は年に1回、現役とOB、OGが母校体育館に集まり卓球の団体戦を開催しています。朝10時ごろから15時くらいまで老いも若きも心を一つにして白球を追います。毎年現役に加え、40名前後のOB、OGが集まり年ごとにその年輪が太く育ってきています。この良き伝統を未来に末長く引き継いでいければ良いと思っています。(21D 植木謙)



高校29回(S52卒)A組
2016年5月21日 池袋楽楽、パセラ

毎年、春先に先生を交えたクラス会が恒例と成りつつあったのですが、先生は昨年末に再度体調を崩されたとの事。今回は、先生抜きのクラス会となってしまいましたが、楽しい報告をしてまた元気になってもらおうとの思いで集まりました。皆それぞれに忙しい現実を忘れて、楽しい時をすごしました。(吉田映一郎)

フレッシュ卒業生に聞きました!★



小木曾 美乃里さん

(平成29年卒69回A組)
日本工学院八王子専門学校

松本 亮輔さん

(平成29年卒69回E組)
法政大学理工学部システム工学部**Q 現在の学生生活は?**

私は専門学校に通っているのですが、地方から来てる方、年上の方、留学生の方も同じクラスで学んでいるのでなかなか聞けないような話を聞けたりしてとても楽しいです。授業も今までとは違い専門的で新しいことばかりなのでなかなか大変ではありますが、それが身についていると実感できるとわくわくします。(音響関連のエンジニアになるための勉強をしている)

Q 進路選択の動機や決め手は?

小さい頃から音楽を聞くことがずっと好きで、将来はどんな形でもそれに関わる仕事につきたいと思いました。選択肢の一つとして行った学校で、体験入学の際に指導してくれた講師の方に惹かれてもっとその方からいろいろなことを教わりたい!と思ったのが一番の決め手です。

Q 受験勉強は大変でしたか?

大学で学べるところがとても少なかったこともあり、早い段階で専門学校への進学を決めていたので受験生らしい勉強はしませんでした。その代わりと言ったらなんですが、空いた時間を使って資格取得試験(簿記検定3級)の勉強をしていました。

Q 将来の夢や希望は?

まだなんの職業で、というのは決めていませんがレコーディングエンジニアやラジオミキサーなどの形でたくさんの人々に音楽を届ける仕事につきたいと思っています。それと、経理にも興味があるのでもし、同級生がおもしろそうな事業を立ち上げることになったらそれにたずさわりたいなどと思っています。

Q 高校生活の思い出・印象に残っていることは?

文化祭でやったお化け屋敷です。私は3年の時に実行委員をやっていたのですが、受験勉強があるにもかかわらず夏休みや秋の放課後に残って手伝ってくれた同級生たちには感謝してもしきれません。文化祭中はお化け屋敷の中にいたので他の団体が何をやっていたのかほとんど見れませんでしたが、中でみんなと仕事をするのはとても楽しかったです。あの時の経験はずっと忘れないものになりました。

Q 後輩へのアドバイスやエールを!

受験で大変なときは、それを経験してきた先輩に遠慮なく、頼るのも手だと思います。先輩たちも嫌な顔はしないと思うのでどんどん頼って下さい。陰ながら応援しています!

高校で経験したことはこの先たくさん役に立ちます。その経験を活かして、これから先も頑張って下さい!

Q 現在の学生生活は?

高校とは異なり大学では自分で時間割を決めます。経営システム工学科では、主に数学を使った計算やパソコンでプログラミングなどをしています。この学科は数学を使って色々なことを解決、分析します。数学好きな人にオススメです。また、サッカー部に所属し、週3で活動しています。まだ始まったばかりでバタバタの状態ですが、新たな人と出会えて楽しくやっています。

Q 進路選択の動機は?

指定校推薦で大学を決めました。初めはそのつもりはなかったので、高3になる前に、受験勉強に専念するため部活を辞めました。担任から成績表をもらった時、指定校推薦も可能と言われました。親は賛成、先生や塾からは少し反対されましたが、色々考えて決めました。自分はこの進路で後悔はありません。指定校推薦で決めた人達や受験生に負けたくなかったので、塾も3月中旬まで通い勉強を続けました。受験生とは異なり緊張感や焦りなどはありませんでしたが、全く違う大変さがありました。

Q 将来の夢・希望は?

小さい頃から営業職の父の後ろ姿に憧れていたので、将来は父みたいに営業の仕事に就きたいと思います。また営業職でも範囲が広いので、人と多く関わる食品関係や薬品関係の仕事に就きたいです。

Q 高校生活の思い出・印象に残っていることは?

本当に充実していました。毎年体育祭実行委員や文化祭係等を務めました。体育祭では皆と協力し一つにまとまる難しさを実感しましたが、最後は皆で笑って終わってよかったです。自分自身は体育祭で少しやり過ぎてしましましたが、それも含めて思い出です。文化祭は1年でお化け屋敷、2年で恋愛映画、3年では縁日をやりました。2年では映画の出演者と製作者の予定が合わず、意見が異なることもありました。自分が間に入ってうまく進行できました。この経験から人との関わりの難しさを学べました。

Q 後輩へのアドバイスやエールを!

高校生活を思う存分楽しんでください。ただ行事や部活を楽しむのではなく、学力の面でも結果を出すということです。今できることは今しかありません。人に迷惑をかけるかもしれません、その分色々な人を助けてください。最後にナポレオンの言葉を紹介します。“Impossible is a word only to be found in the dictionary of fools”「不可能という言葉は愚か者の辞書にしか載っていない」

キャンパスニュース

さらに進化する「IGUSA夢PROJECT」

井草高校 進路指導部 武藤 亮

高校の先の、さらにその先を見据えた井草高校の進路指導、「IGUSA夢PROJECT」も10年が経過しました。国公立や難関私大にチャレンジする生徒も増え、年々進学実績が向上しています。今春の入試も、生徒たちのがんばりによって素晴らしい結果となりました。自主・自由・自律を旗印に、「IGUSA夢PROJECT」はさらに進化して行きます。卒業して10年、28歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

2017年進路状況・合格状況（既卒者、推薦入学を含む合格者数）

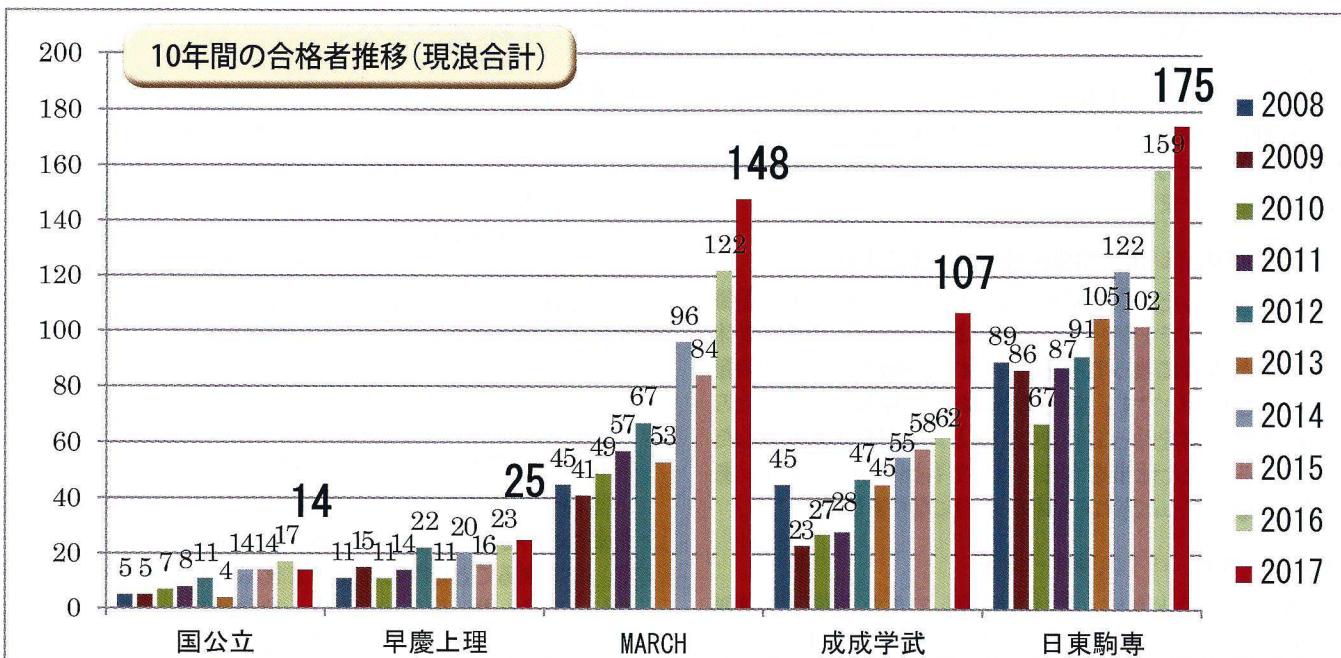
国公立大学（14名）

電気通信2 首都大学東京2 埼玉1 千葉1 筑波1
東京外国語1 東京海洋1 東京学芸1 福井1 北海道1 山形1 埼玉県立1

私立大学（764名）

東洋87 日本58 法政55 武藏48 明治33 成蹊31
中央21 立教21 學習院20 東京農業19 青山学院18 専修16 大東文化16 武蔵野16 駒澤14 亜細亜12 東京家政11 早稲田11 芝浦工業10 目白10
工学院9 國學院9 東京医療保健9 東京工科9
東京電機9 共立女子8 帝京8 東京経済8 東京理科8 成城7 明治学院7 明星7 杏林6 昭和女子6 津田塾6 帝京平成6 東海6 東京女子6

東京都市6 国士館5 立正5 上智4 文教4 大妻女子3 神奈川3 順天堂3 城西3 女子栄養3
拓殖3 東京医科3 東邦3 跡見学園女子2 學習院女子2 京都橘2 神戸女学院2 駒沢女子2 実践女子2 十文字学園女子2 昭和2 清泉女子2
創価2 大正2 多摩美術2 千葉工業2 デジタルハリウッド2 獨協2 日本社会事業2 桜美林1
関西1 北里1 京都光華女子1 慶應義塾1 恵泉女学園1 国際医療福祉1 産業能率1 白梅学園1
西武文理1 東京音楽1 東京家政学院1 東京工芸1
東京成徳1 東京薬科1 同志社女子1 東洋英和女学院1 ビジネス・ブレークスルー1 福井医療1 文京学院1 平成国際1 武蔵野音楽1 立命館1



早慶上理：早稲田、慶應義塾、上智、東京理科
成成学武：成蹊、成城、学習院、武蔵

MARCH：明治、青山学院、立教、中央、法政
日東駒専：日本、東洋、駒澤、専修

クラブ活動めぐり

最近の井草高校では進学実績だけでなく、各部活動でも活躍が目立ちます。今回のクラブ活動めぐりでは、地道に努力している頑張り屋の弓道部と、消滅していたクラブを昨年度1年生だけで再生させ、同好会から部へ昇格した研究熱心な生物部を紹介致します。

生物部

私たち生物同好会（現在は部に昇格）は、昨年度着任された顧問の久永先生の呼びかけに呼応した1年生だけで再び井草高校に誕生しました。というのも、卒業アルバムを調べたところ平成10年に生物部は廃部になっていたのです。現在、部員数は14名。2年生が11名（うち女子1名）、1年生が3名です。



長年放置されていた化学室前のビオトープの水を抜いたらコイ科の小魚が生息していました。

現在の活動は、各部員の個人研究に加え、ウーパールーパーなどの生物の飼育、実験用農場の開墾、高尾山などフィールドでの観察などです。春休みには東京薬科大学の協力のもと、ビオトープで捕獲した種不明の小魚のDNA鑑定を行いました。この詳細は文化祭で報告します。



東京薬科大学の研究室で魚の形態とDNAによる分類方法を実習しました。

古いアルバムに、昭和39年の富津海岸や湯の丸高原での合宿写真が残っています。今年も文化祭で展示しますので、卒業された先輩の方々に、部員の活動とともに見て頂きたいと思います。

（部長 小田桐 良篤）

弓道部

井草高校弓道部は、現在2年生24人、3年生17人の計41人で各大会での上位入賞を目標に練習に励んでいます。昨年から練習日数が増え忙しい毎日ですが、顧問の川村先生をはじめたくさんの先生方に支えられ日々精進しています。

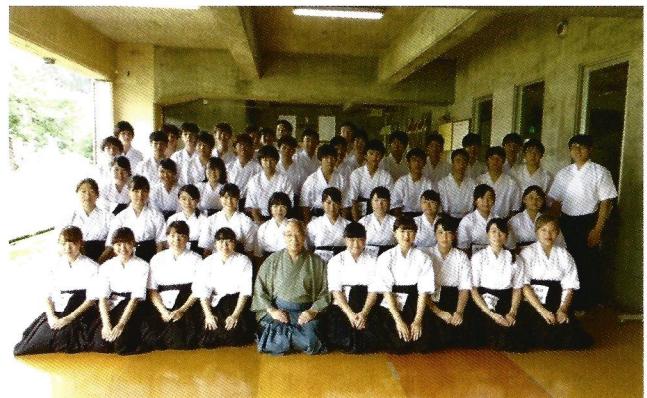
弓道は礼儀を重んじる武道です。作法を学ぶことで人として必要な礼儀を学べます。また、弓道はとても



難しい競技です。技術面だけでなく精神面も大切で、雑念を取り払い集中力が必要です。練習を毎日頑張ってもなかなか結果に反映されません。しかし、辛い練習を乗り越え良い結果を残せたときの喜びや達成感はとても大きなものです。そして、弓道は己との戦いでもあり、練習を通して自分を見つめ直すことにより人間として成長を感じられます。人数が多いため大変なこともありますが、そのぶん楽しいこともたくさんあります。

まだまだ部活動としても未熟で悔しい思いをすることも多く、充分な結果も出せずにいますが、これからも目標に向かい頑張りますので応援よろしくお願いします。

（2年F組 佐藤菜生）



副会長
インタビュー

「たまには井草高校に遊びに行こうかな」と思える楽しい井草会が理想です。

橋木 莊太 副会長 29回(S52年卒) I組

橋木さんは、井草会の副会長を3期務めていらっしゃいます。全国各地でのお仕事など、お忙しい合間をぬって、井草会の活動をされています。みんなが楽しめる「井草会」への思いをお伺いします。

**井草時代はどんな高校生だったのですか。**

高校時代はハンドボール部とアルバイトに明け暮れています。ハンドボール部は今、井草高校はないので、残念ですね。当時のハンドボール部はあまり大会では良い成績は残せなかったのですが、練習試合では都で3位になった学校と互角の勝負をするくらいになるなど頑張っていました。部活がない時は、生活のためもあって、神宮球場でビールの販売をやっていました。階段の上り下りが多く、おかげで足腰が鍛えられましたね。



井草の思い出は体育祭が印象に残っています。私は2年生の時に団長、3年生では大将もやりました。大きなマスコットを作ったり、最終日にポンファイヤーをやったりと楽しい思い出です。

卒業後は美容師になりましたが、膝が悪かったこともあります。辞め、その後は様々な仕事を経験しました。40歳には独立して輸入関係の仕事を始めました。仕事ではいろいろ失敗もしました。でも、失敗すると「どうやつたらうまくいくか」と考えるようになります。失敗を重ねて、それが形になっていくことの方が喜びを感じますね。いくつかの仕事を経て、今は会社の役員をしています。

お仕事もお忙しいなかで、井草会の活動は大変じゃないですか。

みんな忙しいと思うんです。専業主婦の人だってやることが沢山あり忙しいでしょう。井草会に関わるきっかけは卒業後30年の記念学年で呼んでもらった同窓会でした。井草会に関わり始めた当初の印象は「どうして、組織に決まりごとややってはいけないことなどの取り決めが多いのかな」と感じました。同窓会の集まりは「楽しくなければだめではないか」と思ったので、もちろん仕事も忙しかったですが、「何かをえていきたい」という思いがあったので、自ら少しずつ変えていくように動きました。その結果として、

だいぶ楽しくできるように変わったと思います。今は若い世代も井草会に関わってくれるようになってきて、よい方向に進んでいると思います。

井草会への思いはどうですか。

井草高校には他の高校はない一体感があるように感じています。井草会も関わる人がある世代ではとても少なかつたりしています。やはり、世代をつないでいくことが大切ですね。

いかに井草会の活動を次の世代につないでいくのかが課題です。そうした中、新たに卒業後10年、20年の世代を記念学年として声をかけることが始まったことは、良いことだと思います。新しい世代にどんどん加わってもらわないと井草会もマンネリ化してしまいます。

井草会はこれからどうなっていったらいいと思いますか。

何しろ楽しい会にしたい。一つのアイディアとして、「○○教室」みたいなものを井草会が企画してやつたらどうかと思います。そうした取り組みをやっている同窓会はあまりないのではないでしょうか。若い世代の井草生でも親には聞けないけど、他の大人に話を聞いてみたいというがあれば、井草会がそうした受け皿にもなれるのでは。自分の同世代だけのコミュニティーではなく、年齢の違う先輩の話を聞くだけでもいいのでは?

私は仕事での飲み会はありません。仕事の関係だと「その話はまた今度、飲み会でないところでしましょう」という感じになりがち。むしろ仕事以外の関係のいろいろな人との飲み会の方が楽しい。その究極が井草会かもしれませんね。

若い井草高同窓生が「たまには学校に遊びに行こうかな」というきっかけになるような井草会が理想です。

(インタビューは2017年4月に実施しました。)

幹事総会報告

5月13日（土）、平成29年度定時幹事総会が母校視聴覚室で開催されました。当日は47名の出席（委任状313名）により必要定足数50名を満たし、総会が成立しました。

学校側から名誉会長としてご出席いただいた有明得良人校長先生より、学校が掲げている国際理解教育に対する同窓会からの多大な協力へ感謝の言葉が寄せられました。そして、全日制同窓会（井草会）は旧制女学校以来、同窓生2万名を超える歴史があり、毎年280名近くの卒業生が増加しているが、定時制同窓会（いぐさ会）は昭和23年開校から58年までの卒業生1,060名ほどの会員数で今後は減少する一方なので、同じ井草の地で学んだ方々が集う場として、一つに合併してはいかがかとのご提案がありました。それに対し、植木謙会長より、定時制同窓会との融和については、今後前向きに協議を進めていきたいとの回答がありました。続いて、小高潤子副校长先生、伊藤一枝PTA会長より母校支援の一環として昨年度寄贈したテントと今年度も新入生へ贈った校歌CDと校章バッジに対するお礼の言葉とともに、今後とも生徒たちのために協力と支援を願いたいとのご挨拶がありました。

議事については、平成28年度の事業報告・決算報告に続き、平成29年度の事業計画・予算案が審議され、いずれも全会一致で承認され、無事閉会いたしました。



平成28年度決算・29年度予算

収 入

(単位：円)

項目	H28年度予算	H28年度決算	H29年度予算
繰 越 金	1,891,403	1,891,403	2,308,093
入 会 金	992,000	992,000	1,004,000
会 費 収 入	3,000,000	3,028,000	3,000,000
寄 付 収 入	500,000	765,000	500,000
同 窓 会 参 加 費	0	0	3,000,000
雑 収 入	20,000	9,721	10,000
計	6,403,403	6,686,124	9,822,093

支 出

(単位：円)

項目	H28年度予算	H28年度決算	H29年度予算
会 報 委 員 会 費	2,450,000	2,445,920	3,150,000
会 報 通 信 費	1,200,000	1,190,606	1,150,000
会 報 発 送 代 行 費	700,000	693,252	750,000
会 報 等 印 刷 費	450,000	508,085	1,150,000
委 員 会 活 動 費	100,000	53,977	100,000
同 窓 会 委 員 会 費	900,000	472,273	4,450,000
ク ラ ス 会 等 援 助 金	700,000	382,000	700,000
委 員 会 活 動 費	200,000	90,273	200,000
同 窓 会 開 催 費 用	0	0	3,500,000
同 窓 会 費 振 込 手 数 料	0	0	50,000
広 報 委 員 会 費	400,000	316,488	400,000
イ ン タ ネ ッ プ 委 員 会 費	200,000	86,208	100,000
事 務 担 当 費	1,550,864	1,053,702	1,200,864
活 動 費	700,000	555,172	700,000
井 草 高 校 助 成 金	300,000	0	300,000
振 込 用 紙 印 刷 代	350,000	320,580	0
年 会 費 振 込 手 数 料	200,000	177,086	200,000
入 会 金 振 込 手 数 料	864	864	864
会 計 担 当	20,000	3,440	20,000
事 務 所 開 設 準 備 金	0	0	0
予 備 費	882,539	0	501,229
次 年 度 繰 越		2,308,093	
計	6,403,403	4,378,031	9,822,093

財 産 目 錄

(平成29年3月31日現在) 単位:円

名簿積立金	700,000
井草会事務所開設準備金	15,500,000

「同窓会会員からの便り」を募集します！

あなたは、高校時代にどんな思い出がありますか。

いま、井草会(同窓会)へ伝えたいメッセージはありませんか。

あなたの声を届ける用紙を会報に同封いたしましたので、ぜひ紙面作りにご協力ください！



宛先：〈FAX〉 0120-066-193 〈メール〉 jimu@igusakai.org

〈郵便〉 井草会 〒177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内

締切：平成29年12月20日(来年の会報から掲載予定)

井草会掲示板

1 井草祭へのお誘い

開催日時：9月9日（土）・10日（日） 10:00～15:00

井草会は今年も井草祭へ参加し、歓談の場を用意して、同窓生の皆様のお越しをお待ちしています。今回は、「2017同窓会」の写真を中心としたパネル展示を企画しています。この機会に、ぜひ懐かしいキャンパスへ足を運んでください。そして、高校時代の思い出に浸るとともに、井草の伝統をしっかりと引き継いでいる現役生たちの作品や発表などを楽しめます！



2016井草祭入場門「星のカービィ」

2 28年度一般寄付金寄付者名簿

平成29年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

(敬称略、単位：千円)

高女1	未永 京子	10	12	中林 保彦	3	15	小泉 彰	3	21	宮本 静代	10	30	山崎 信彦	1
	谷井 照代	10		細谷 春來	1		小野 節子	3	22	戸倉 賢二	3		青木 章	1
2	須貝 照子	3		八百 洋子	1	16	八百幸圭子	3	23	田中 隆枝	3		大場 肇	3
3	辻 タケ子	3		工藤登代子	10		滝田 昇	100		山下 昭夫	1	31	滝川 直	10
高校2	渡辺 旭	3	13	原沢 利弥	8		横山 芳昭	2	25	小山 伸也	8		藤吉 和彦	2
4	間藤 道子	3		富岡 和子	8	18	倉垣 洋	8	26	岡田雄一郎	20	32	藤川 由美	1
6	遠矢 良隆	1		黒木 文子	8		千葉 優子	3		杉野 俊哉	1	34	島田 隆司	3
7	渡辺ささ子	8	14	松本 洋子	3	19	高橋 勉	3		立川 利夫	3		高野 郁人	1
8	中上喜久男	8		鴨居 静秀	5		横山ますみ	3		故・別所嘉彦	200	35	福沢 光一	3
9	木村 忠正	8		林 健一	10		川勝 文雄	3	27	吉沢 光人	8	36	安部 俊哉	3
10	関口 素子	1		G組 有志	4	20	野崎 眞	3		竹林 明	3		松下 裕昭	10
	野口 篤	8		匿 名	10		本山 和夫	18		町田 秀彦	3	37	野口 拓真	8
11	町田 浩子	3		水野由美子	2		初山貴世子	8		山口千鶴子	3	38	菊地 寿枝	1
	木下 亮一	3	15	今井千恵子	3		村田 直樹	20		伊藤 立実	30		茂木 祥子	3
12	魚住 昌治	3		堺 公子	3		大山 吉久	3	28	長崎 正彦	1		古池 賴子	3
	尾崎 政雄	3		中村 幸子	1		田中 英明	3		小野なおみ	2	39	川崎 孝	10
	細野 恭代	3		川添 洋子	3	21	福田 健児	8	29	中村 嘉宏	8	41	内池 久美	3
	軽部 行秀	2		三井 康子	3		遊佐 曜彦	3	30	伊集院直子	1		吉浦 和孝	3
	神保 捷介	3		作田 豊彦	3		井口 政幸	1		田中 明美	3		寄付者合計98名	
	内藤千与孝	1		熊谷 和子	3		植木 謙	5		沖田 芳弘	3			765,000円

恩師の訃報

福島 達雄 先生 (S40～47年 英語)	平成27年9月3日
江渡 大輔 先生 (S51～H4年 国語)	平成28年3月1日
児玉 紀 先生 (S37～57年 数学)	平成28年5月30日
森脇 直人 先生 (S44～50年 体育)	平成28年7月19日
矢澤 千宜 先生 (S62～H5年 音楽)	平成28年12月
林 悅三 先生 (S63～H7年 国語)	平成28年

編集後記

企画・記事集めに始まり記事の割り付けから校正まで、編集会議や原稿の締切期限に追われながら、ようやく会報50号の発行までたどり着きました。会報は会員と同窓会を結ぶ重要なツールです。会員に期待されるより良い紙面づくりをめざして頑張りますので、会員の皆様のご意見・ご協力宜しくお願いします。

井草会事務局：177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内

□ (FAX) 0120-066-193 (受付時間 平日9時～17時) 郵便番号：00120-4-84359

ホームページ：<http://www.igusakai.org> Eメール：jimu@igusakai.org

編集委員：遠矢良隆(6A) 中井淑子(7C) 瀬尾行弘(8B) 新井雅晴(13D) 西田実(17B) 中村啓子(18E) 日野純子(24H) 新妻成一(35F)